

Sunset Screen 案出しメモ

他の楽曲でも案出しメモは作成していますが、今回は一例としてこの曲のみ

・曲名

- ・窓は歌のカギになってくるので大事にしたい

- ・『ヲタク部屋とサンセット』

→韻踏んでるの良い

- ・『Sunset Room』

→ピコピコ要素外れる

- ・『Sunset Window』

→窓要素あり、しかしピコピコ要素外れる

- ★『Sunset Screen』

→窓を「夕日を映し出す画面(スクリーン)」と暗喩するという意味では完璧

しかも「ゲームの画面」とも掛かっていて、ピコピコ要素も入ってる

・何を表現するか(伝えたいこと)(大雑把に)

- ・ちょっと切ない午後 4 時半
- ・窓の外から昼と夕方間の時間帯の日が窓から差し込んでいる
- ・閉鎖的な「一室」という空間に「外」から光が差し込んでいる
- ・生活感のある、ちょっと散らかった部屋、散らかった心
- ・目の前にはパソコンやスマホ、ゲームなどの電子機器

・発想はどこから

- ・「身近にあるけど気付かない趣深さ」がテーマなので、辺りを見回してみたら窓から差し込む日の光が綺麗だなと思ったので

・全体

- ・大雑把な音色構成：
- ・リズムの感じ：Swing、BPM70～80
- ・サビ or ドロップ：ほぼなし(ドロップ寄り)
- ・調：??

- ・ジャンル：Chillhop
- ・作るときの心構え：
 - ・(いつものことだが)「もうこのフレーズ飽きたよ」とは絶対に言わせないぞという覚悟を持って作ろう。
 - ・(いつものことだが)かといって「あんまり目立ったフレーズなかったな」とも絶対に言わせないぞ。
 - ・暗喩多めの歌詞で 何かの象徴になっているみたいなのもよい
- ・その他：
 - ・作成順序は、表現したいものの案出し→コード→メロディ→ドラム→ベース→サブメロ(ただし途中で前の行程の修正をしてもよい)
 - ・思いついちゃったらそこから作っていい
 - ・太陽光と電子機器の光の対比

- ・具体的な音色案(DAW 触りながら決める)
 - ・ドラム：脳内で鳴ってるやつを探す
 - ・ボーカル：なし
 - ・飾り：無機質な電子音(ピコピコ系)
 - ・コード：温かさに全振りしたエレピ、閉鎖的な空間の表現のためにリバーブは効かせない、散らかった部屋のイメージなので汚くていい
 - ・ベース：丸い、あんま重くなくていいかも
 - ・その他
 - ・風：フルートか口笛

・その他

・ここから具体的な展開案↓

Intro.

- ・閉鎖的な空間を表現
 - スネアでスパッと切れてしまうエレピの余韻、押さえつけられている感を表現
 - ドラムもローパスフィルターかけてこもった感じにする
- ・ネガティブな感情

1.A

- ・引き続き閉鎖的な空間を表現
 - Intro と同様に
- ・歌詞は状況説明

「休みの日の普通の午後 自室に僕ひとり 僕ひとり」(ひとりという言葉が寂しさを象徴)

・ゲームをやりつつ...みたいな楽しい昼だけど、なんか切ない

→ピコピコ音がコロコロしてて楽しげだけどずっとメロディが低かったり/*短調だったり dim だったり

*/不安定

「そこかしこにはブルーライト 時にはうざったいよ うざったいよ」

2.B

・まだ閉鎖的

→Intro と同様に

・心のわだかまりを捨てる準備

→/*メロディが dim にあたる音をだんだん無くしていく*/

「画面から目を離す もうこんな時間

ちょっと暗いな 部屋の窓を開けるよ」

3.間奏 1(実質メインディッシュ、所謂ドロップ)

・窓を開ける

→スネアが鳴っても余韻の残るエレピに

→ローパスフィルター一気に解除、爽快な音に

5.A2

・A と大差なし、しかし気持ち若干爽快感が生まれている

→A と大差なし、しかしリバーブだけ効いてる

「休みの日の普通の午後 自室に風が吹く 風が吹く (気持ちを明るくするものが目の前に現れるイメージ?)

6.B2

・B と大差なし、しかし気持ち若干爽快感が生まれている

→B と大差なし、しかしリバーブだけ効いてる

・心の窓にも言及

「画面から差し込んだ 日常の光 (いつも照らしてくれる太陽の光 / 日々の中に隠れている明るい尊さ)

仰いでみれば もひとつ窓が開くよ」(憧れるもの、なりたいものを見つけたことで、心が晴れやかになる)

7.間奏 2(実質メインディッシュ、所謂ドロップ)

・ここからは大体フィーリング

・窓も開けつつ、夕日に照らされながらゲームをプレイ

→ピコピコ音とフルートのフュージョン

・気持ちも明るくなってラララと歌い出しちゃう

→実際にラララを挿入

Outro.

- ・夕日が睡魔を誘い、ついにそれに負けて最終的にうたた寝しちゃう

→リバーブの Mix ノブをだんだん強くして最終的に MAX に